【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成29年7月6日(2017.7.6)

【公開番号】特開2017-40666(P2017-40666A)
【公開日】平成29年2月23日(2017.2.23)
【年通号数】公開・登録公報2017-008
【出願番号】特願2016-232033(P2016-232033)
【国際特許分類】
Ｇ０４Ｂ　37/10　(2006.01)
Ｇ０４Ｇ　21/00　(2010.01)
【ＦＩ】
Ｇ０４Ｂ　37/10　Ｔ
Ｇ０４Ｇ　21/00　３０４Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成29年5月29日(2017.5.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
この発明は、貫通孔が設けられたケースと、前記ケースの前記貫通孔に取り付けられる第１筒部と、前記ケースの外部に配置されて前記第１筒部によって前記ケースの外面と接する第２筒部と、を有する外部部材と、前記外部部材の内側に配置される釦部材と、前記ケースの外面に配置される間接部材と、を備え、前記第１筒部は、前記ケースの外部に位置する外端部に押え部が形成されており、前記第２筒部は、前記ケース側に位置する内端部に、前記第１筒部の前記押え部と接する取付突起部が形成されており、前記間接部材は、前記第１筒部の前記押え部と前記第２筒部の前記取付突起部と前記ケースと接することを特徴とする押釦装置である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
貫通孔が設けられたケースと、
前記ケースの前記貫通孔に取り付けられる第１筒部と、前記ケースの外部に配置されて前記第１筒部によって前記ケースの外面と接する第２筒部と、を有する外部部材と、
前記外部部材の内側に配置される釦部材と、
前記ケースの外面に配置される間接部材と、
を備え、
前記第１筒部は、前記ケースの外部に位置する外端部に押え部が形成されており、
前記第２筒部は、前記ケース側に位置する内端部に、前記第１筒部の前記押え部と接する取付突起部が形成されており、
前記間接部材は、前記第１筒部の前記押え部と前記第２筒部の前記取付突起部と前記ケースと接する
ことを特徴とする押釦装置。

【請求項２】
前記釦部材は、軸部および頭部を有し、
前記第１筒部には、前記釦部材の前記軸部がスライド可能に挿入され、前記第２筒部には、前記釦部材の前記頭部がスライド可能に配置される
ことを特徴とする請求項１に記載の押釦装置。
【請求項３】
前記第２筒部は、前記取付突起部が前記第１筒部の前記押え部によって前記ケースの外面に押し付けられることで取り付けられていることを特徴とする請求項１又は２に記載の押釦装置。
【請求項４】
前記間接部材は、前記第１筒部の前記押え部と、前記第２筒部の前記取付突起部と、これらが対応する前記ケースの外面とで囲われる領域内に配置されていることを特徴とする請求項１～３のいずれか一項に記載の押釦装置。
【請求項５】
前記ケース側に位置する前記第２筒部の端部と、これに対面する前記ケースの外面との間には、緩衝部材が配置されていることを特徴とする請求項１～４のいずれか一項に押釦装置。
【請求項６】
前記ケースの前記貫通孔の内周面には雌ねじが形成され、前記第１筒部の外周面には、前記貫通孔の前記雌ねじと対応した雄ねじが形成されていることを特徴とする請求項１～５のいずれか一項に押釦装置。
【請求項７】
請求項１～６のいずれかに記載された押釦装置を備えていることを特徴とする時計。